
白い部屋での心理実験

南波航助

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

白い部屋での心理実験

【Zコード】

Z3348D

【作者名】

南波航助

【あらすじ】

人間は思いこみで、誤解してしまつ。そんな一つの話を描きました。

「お願ひだ、許してくれ

「何を？」

「頼む、許してくれ

「だから何を？」

「すまなかつた」

「はあ？」

「許してくれ

あまりにもしつこいからそいつをぶん殴つた。

「痛い・・・・・これで許してくれる？」

「お前が俺に何をしたんだ！」

「すまなかつた」

「だからさあ

「俺はあんたを、殺しちまつた

「なにいってんだよ

「その後俺も死んで」

「冗談よせよ

「嘘だ」

「俺ら、幽靈なんだよ。この部屋真っ白だろー。」

「ホントだよ。覚えてないのかい。俺があんたを包丁でひとつき・・・

「まさかあ

「ふやけんなよ

「まあいいさあ。俺らは死んだんだ。目を覚ますことはない」

「ふやけてないよ

「うわああああ・・・・・・

男は倒れ込んだ。

「はい、心理実験終了了！お疲れ」

「どうもツス」

男は倒れ込んだままだ。

「ホントに、人って思いこみで死んじゃうんですね」

「そうらしいなあ」

「今回の死刑囚を利用した実験、良いデータが取れるな

「そうですね」

「ここはどこだ？」
「あなたは、神様です」
「え？」
「あなたは神様です」
一人の美女が一人の男に言った。
「まさか」
「本当です」
「嘘だ」
「本当なんです」
「証拠は？」
「あなたの力で何でも出来ます」
「ここは白い部屋。」
「ほら、このモニターを見て。これは東京のとある駅の監視モニタ
ーです」
「それは分かるよ」
「そこに座っている人に、「死ね」って念じてみなさい」
「分かった」
男は必死に念じた。
すると、座っている男は突然倒れ込んだ。
「すごい、すごい」
「どうです？ あなたは神様なんですよ」

「 そりゃ、僕は神だ！僕は神なんだ！」

「 はい、実験終了」

「 すごいですね。記憶を一回無くして、思いこませると

「 そうだ、自分を神だと思つてしまつ

「 心理はすばらしいものだ

「 はい」

(後書き)

思ひこみは、すこです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3348d/>

白い部屋での心理実験

2010年12月9日04時58分発行